

デモ

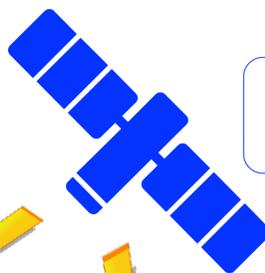
通信が途絶えた大災害現場からの通信確保

大規模災害発生時に派遣された医療チームとの情報共有は、効率的な患者搬送・機能施設の確認等のために必要不可欠である。この情報共有をするためには、インフラ設備が壊滅している被災地においても活用できる衛星回線を有効に活用することは重要である。

奈良医大



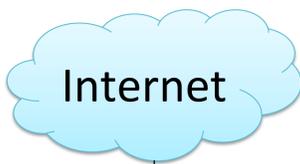
通信衛星
スカパーJSAT



地球局



Internet



想定デモ

現場のけが人の病状を伝える看護師と奈良医大の医師がTV会議システムで処置の方法を検討



NAIST

奈良先端科学技術大学院大学

大災害現場



曼陀羅号

アドホック型衛星
インターネットシステム

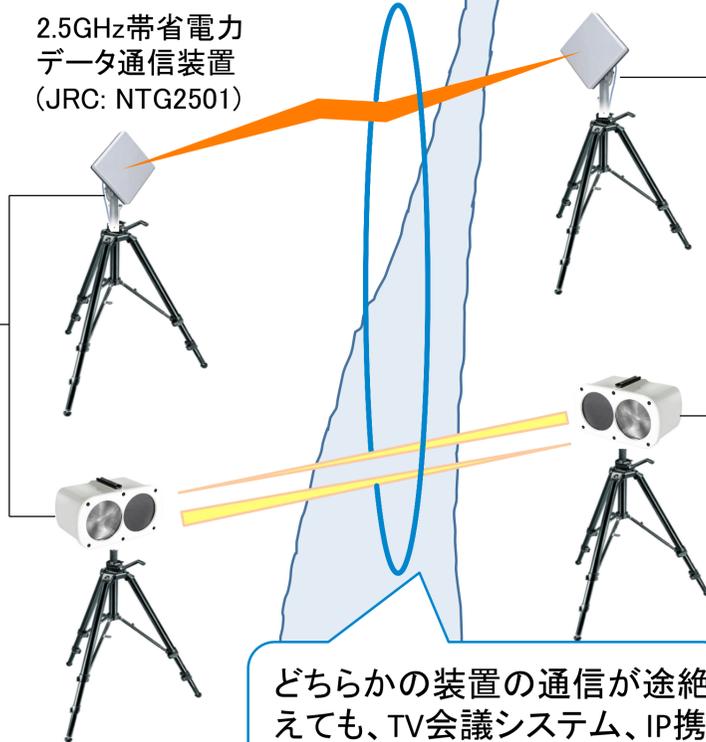


2回線を仮想敵に1回線にする技術



LAG

2.5GHz帯省電力
データ通信装置
(JRC: NTG2501)



どちらかの装置の通信が途絶えても、TV会議システム、IP携帯電話は途絶えず利用可能

LEDバックホール
可視光通信
(三技協: LED Backhaul)

想定デモ

通信が途絶えた大災害現場へ衛星車「曼陀羅号」を派遣、小電力通信装置と光通信装置によりネットワーク到達範囲を広げ、通信衛星回線を有効活用するネットワークを構築

IP携帯電話で衛星回線の遅延を体験!